

○「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について」（制定 平成11年12月28日近運旅一公示第52号、改正 令和元年7月29日 近運自一公示第10号）の改正に係る新旧対照表（本文）

改正後	現 行
<p>制定 平成11年12月28日 近運旅一公示第52号 改正 平成16年 3月19日 近運自一公示第14号 改正 平成26年 3月28日 近運自一公示第21号 改正 令和 元年 7月29日 近運自一公示第10号 改正 令和 5年 8月25日 近運自一公示第 8号</p> <p>公 示</p>	<p>制定 平成11年12月28日 近運旅一公示第52号 改正 平成16年 3月19日 近運自一公示第14号 改正 平成26年 3月28日 近運自一公示第21号 改正 令和 元年 7月29日 近運自一公示第10号</p> <p>公 示</p>
<p>一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について</p>	<p>一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について</p>
<p>道路運送法（昭和26年法律第183号。以下「法」という。）第9条の2第2項に基づく一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令の処理要領を下記のとおり定めたので公示する。</p>	<p>道路運送法（昭和26年法律第183号。以下「法」という。）第9条の2第2項に基づく一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令の処理要領を下記のとおり定めたので公示する。</p>
<p>令和 5年 8月25日 近畿運輸局長 金井 昭彦</p>	<p>令和 元年 7月29日 近畿運輸局長 八木 一夫</p>
<p>記</p>	<p>記</p>
<p>1. 運賃・料金の設定（変更）届出書の内容が次のいずれかに該当するときは変更命令の検討を必要としないものとする。</p> <p>① 運賃・料金の下限額が、別紙1の「一般貸切旅客自動車運送事業の変更命令の検討を必要としない運賃・料金の額」の下限額以上のものであって、運賃・料金の適用方法が、別紙2の「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法」と合致するものであるとき。</p> <p>② 近畿運輸局長が地域の実情を勘案して、①の別紙1の下限額を適用することが適当ではないとして公示したものであるとき。</p> <p>2. 運賃・料金の下限額が、別紙1の下限額以下のものである場合は、法第9条の2第2項において準用する法第9条第6項各号に該当するか否かの調査を行うこととし、法第94条第1項の規定に基づき、原価計算書その他運賃・料金の算出の基礎が記載された書類の提出を求める。</p> <p>この場合、原価計算書等については、別紙3の「一般貸切旅客自動車運送事業の原価計算要領」に基づいて作成させる。</p> <p>3. 運賃・料金の適用方法が、別紙2の標準適用方法と合致しないものである場合は、法第9条の2第2項において準用する法第9条第6項各号に該当するか否かの調査を行うこと</p>	<p>1. 運賃・料金の設定（変更）届出書の内容が次のいずれかに該当するときは変更命令の審査を必要としないものとする。</p> <p>① 運賃・料金の上限額及び下限額が、別紙1の「一般貸切旅客自動車運送事業の変更命令の審査を必要としない運賃・料金の額の範囲」の範囲内のものであって、運賃・料金の適用方法が、別紙2の「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法」と合致するものであるとき。</p> <p>② 近畿運輸局長が地域の実情を勘案して、①の別紙1の範囲内の上限額及び下限額を適用することが適当ではないとして公示したものであるとき。</p> <p>2. 運賃・料金の上限額及び下限額が、別紙1の範囲以外のものである場合は、法第9条の2第2項において準用する法第9条第6項各号に該当するか否かの審査を行うこととし、法第94条第1項の規定に基づき、原価計算書その他運賃・料金の算出の基礎が記載された書類の提出を求める。</p> <p>この場合、原価計算書等については、別紙3の「一般貸切旅客自動車運送事業の原価計算要領」に基づいて作成させる。</p> <p>3. 運賃・料金の適用方法が、別紙2の標準適用方法と合致しないものである場合は、法第9条の2第2項において準用する法第9条第6項各号に該当するか否かの審査を行うこと</p>

とし、法第94条第1項の規定に基づき、標準適用方法と異なる理由について意見聴取を行うとともに、必要に応じ、原価計算書その他運賃・料金の算出の基礎が記載された書類等の提出を求める。

4. 上記2、3の場合において、**調査**の結果、法第9条の2第2項において準用する法第9条第6項各号に該当すると判断されるときは運賃・料金を変更すべきことを命ずる。

附則

この公示は、平成12年2月1日から適用する。なお、平成6年9月1日付け近運旅一公示第36号「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃料金認可に関する審査基準について」の公示は、平成12年1月31日をもって廃止する。

附則（平成16年3月19日 近運自一公示第14号改正）

この公示は、平成16年4月1日から適用する。

附則（平成26年3月28日 近運自一公示第21号改正）

1. この公示は、平成26年4月1日から適用する。
2. 運賃・料金の変更届出書の実施予定日までに入札制による価格決定方式を採用している運送申込者を含む運送申込者と合意又は運送契約を締結した運賃・料金については、従前の運賃・料金を基準とした額を適用することとする。
3. 2. により従前の運賃・料金を基準とした額を適用した運賃・料金については、旅客自動車運送事業運輸規則（昭和31年運輸省令第44号）第7条の2に規定する運送引受書に旧運賃・料金を適用した旨を記載することとする。

附則（令和元年7月29日 近運自一公示第10号改正）

1. この公示は、令和元年8月1日から施行する。

附則（令和5年8月25日 近運自一公示第8号改正）

1. この公示は、令和5年8月25日より施行する。
2. 新たな運賃・料金の実施日までに運送の引受を合意した場合には、契約の締結が実施日以降であっても、従前の運賃・料金による額を適用することができる
3. 2. により従前の運賃・料金を適用した場合には、旅客自動車運送事業運輸規則第7条の2に規定する運送引受書に旧運賃・料金を適用した旨を記載することとする。

とし、法第94条第1項の規定に基づき、標準適用方法と異なる理由について意見聴取を行うとともに、必要に応じ、原価計算書その他運賃・料金の算出の基礎が記載された書類等の提出を求める。

4. 上記2、3の場合において、**審査**の結果、法第9条の2第2項において準用する法第9条第6項各号に該当すると判断されるときは運賃・料金を変更すべきことを命ずる。

附則

この公示は、平成12年2月1日から適用する。なお、平成6年9月1日付け近運旅一公示第36号「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃料金認可に関する審査基準について」の公示は、平成12年1月31日をもって廃止する。

附則（平成16年3月19日 近運自一公示第14号改正）

この公示は、平成16年4月1日から適用する。

附則（平成26年3月28日 近運自一公示第21号改正）

1. この公示は、平成26年4月1日から適用する。
2. 運賃・料金の変更届出書の実施予定日までに入札制による価格決定方式を採用している運送申込者を含む運送申込者と合意又は運送契約を締結した運賃・料金については、従前の運賃・料金を基準とした額を適用することとする。
3. 2. により従前の運賃・料金を基準とした額を適用した運賃・料金については、旅客自動車運送事業運輸規則（昭和31年運輸省令第44号）第7条の2に規定する運送引受書に旧運賃・料金を適用した旨を記載することとする。

附則（令和元年7月29日 近運自一公示第10号改正）

1. この公示は、令和元年8月1日から施行する。

○「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について」（制定 平成11年12月28日近運旅一公示第52号、改正 令和元年7月29日 近運自一公示第10号）の改正に係る新旧対照表（別紙1）

改正後				現行			
			下 限 額			上 限 額	下 限 額
運	キロ制運賃 (1km当たり)	大型車	160円	運	キロ制運賃 (1km当たり)	大型車	120円
		中型車	130円			中型車	100円
		小型車	110円			小型車	90円
賃	時間制運賃 (1時間当たり)	大型車	7,390円	賃	時間制運賃 (1時間当たり)	大型車	5,990円
		中型車	6,240円			中型車	5,060円
		小型車	5,360円			小型車	4,340円
料	交替運転者配置 料金	キロ制料金(1km当たり)	30円	料	交代運転者配置 料金	キロ制料金 (1km当たり)	20円
		時間制料金(1時間当たり)	2,320円			時間制料金 (1時間当たり)	170円
金	深夜早期運行料金		時間制運賃及び交替 運転者配置料金(時 間制料金)の2割増	金	深夜早期運行料金		時間制運賃及び交替運転者配置料金(時 間制料金)の2割増以内
	特殊車両割増料金		設備や購入価格等を 勘案した割増率		特殊車両割増料金		運賃の5割増以内

○「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について」（制定 平成11年12月28日近運旅一公示第52号、改正 令和元年7月29日 近運自一公示第10号）の改正に係る新旧対照表（別紙2，3）

改正後	現 行
<p>別紙2</p> <p>一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法</p> <p>第1. 車種区分 大型車、中型車、小型車の3区分とし、区分の基準は次のとおりとする。 大型車……車両の長さ9メートル以上又は旅客席数50人以上 中型車……大型車、小型車以外のもの 小型車……車両の長さ7メートル以下で、かつ旅客席数29人以下</p> <p>第2. 運賃</p> <p>1. 運賃の種類 運賃の種類は、時間・キロ併用制運賃とする。</p> <p>2. 運賃の計算方法 運賃は、以下の計算方法により計算した額を合算する。 (1) 時間制運賃 ①出庫前及び帰庫後の点呼・点検時間（以下「点呼点検時間」という。）として、1時間ずつ合計2時間と、走行時間（出庫から帰庫までの拘束時間をいい、回送時間を含む。以下同じ。）を合算した時間に1時間あたりの運賃額を乗じた額とする。 ただし、走行時間が3時間未満の場合は、走行時間を3時間として計算した額とする。 ②2日以上にわたる運送で宿泊を伴う場合、宿泊場所到着後及び宿泊場所出発前の1時間ずつを点呼点検時間とする。 ③フェリーポートを利用した場合の航送にかかる時間（乗船してから下船するまでの時間）は8時間を上限として計算することとする。 (2) キロ制運賃 走行距離（出庫から帰庫までの距離をいい、回送距離を含む。以下同じ。）に1キロあたりの運賃額を乗じた額とする。 (3) 運賃計算の基本 ①運賃は、車種別に計算した金額の下限額以上とする。 ②運賃は、営業所の所在する出発地の運賃を基礎として計算するものとする。</p> <p>3. 運賃の割引</p>	<p>別紙2</p> <p>一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の標準適用方法</p> <p>第1 車種区分 大型車、中型車、小型車の3区分とし、区分の基準は次のとおりとする。 大型車……車両の長さ9メートル以上又は旅客席数50人以上 中型車……大型車、小型車以外のもの 小型車……車両の長さ7メートル以下で、かつ旅客席数29人以下</p> <p>第2 運賃</p> <p>1. 運賃の種類 運賃の種類は、時間・キロ併用制運賃とする。</p> <p>2. 運賃の計算方法 運賃は、以下の計算方法により計算した額を合算する。 (1) 時間制運賃 ①出庫前及び帰庫後の点呼・点検時間（以下「点呼点検時間」という。）として、1時間ずつ合計2時間と、走行時間（出庫から帰庫までの拘束時間をいい、回送時間を含む。以下同じ。）を合算した時間に1時間あたりの運賃額を乗じた額とする。 ただし、走行時間が3時間未満の場合は、走行時間を3時間として計算した額とする。 ②2日以上にわたる運送で宿泊を伴う場合、宿泊場所到着後及び宿泊場所出発前の1時間ずつを点呼点検時間とする。 ③フェリーポートを利用した場合の航送にかかる時間（乗船してから下船するまでの時間）は8時間を上限として計算することとする。 (2) キロ制運賃 走行距離（出庫から帰庫までの距離をいい、回送距離を含む。以下同じ。）に1キロあたりの運賃額を乗じた額とする。 (3) 運賃計算の基本 ①運賃は、車種別に計算した金額の上限額及び下限額の範囲内とする。 ②運賃は、営業所の所在する出発地の運賃を基礎として計算するものとする。</p> <p>3. 運賃の割引</p>

- (1) 身体障害者福祉法、知的障害者福祉法及び児童福祉法の適用を受ける者の団体に対する割引については、**届け出た運賃の下限額を下回らない額**を限度とする。
- (2) 学校教育法による学校（大学及び高等専門学校を除く）に通学又は通園する者の団体に対する割引については、**届け出た運賃の下限額を下回らない額**を限度とする。
- (3) 2以上の割引条件に該当する場合はいずれか高い**割引**を適用し、重複して運賃の割引をしない。

第3. 料金

1. 料金の種類

運送に伴う料金の種類は、深夜早朝運行料金、特殊車両割増料金及び交替運転者配置料金とする。

2. 料金の適用

- (1) 深夜早朝運行料金
22時以降翌朝5時までの間に点呼点検時間、走行時間（回送時間を含む）が含まれた場合、含まれた時間に係る1時間あたりの運賃及び交替運転者配置料金の1時間あたり料金については、**2割**の割増を適用する。
- (2) 特殊車両割増料金
次の条件を有する車両については、**設備や購入価格等を勘案した割増率**を適用することができる。
 - ①標準的な装備を超える特殊な設備を有する車両。
 - ②当該車両購入価格を座席定員で除した単価が、標準的な車両購入価格を標準的な座席定員で除した単価より70%以上高額である車両。
- (3) 交替運転者配置料金
法令により交替運転者の配置が義務付けられる場合、その他、交替運転者の配置について運送申込者と合意した場合には、**届け出た交代運転者配置料金の下限額以上で計算した額**を適用する。
なお、交代運転者が交代地点まで車両に同乗しない場合であっても、同乗したものと**して料金を適用するものとする**

第4. 端数処理

- (1) 走行距離の端数については、10キロ未満は10キロに切り上げる。(以下削除)
- (2) 走行時間の端数については、30分未満は切り捨て、30分以上は**1時間**に切り上げる。

- (1) 身体障害者福祉法、知的障害者福祉法及び児童福祉法の適用を受ける者の団体については**3割引**とする。ただし、2.(3)①により計算した額の下限額を限度とする。

- (2) 学校教育法による学校（大学及び高等専門学校を除く）に通学又は通園する者の団体については**2割引**とする。ただし、2.(3)①により計算した額の下限額を限度とする。

- (3) 2以上の割引条件に該当する場合はいずれか高い**率**を適用し、重複して運賃の割引をしない。

第3. 料金

1. 料金の種類

運送に伴う料金の種類は、深夜早朝運行料金、特殊車両割増料金及び交替運転者配置料金とする。

2. 料金の適用

- (1) 深夜早朝運行料金
22時以降翌朝5時までの間に点呼点検時間、走行時間（回送時間を含む）が含まれた場合、含まれた時間に係る1時間あたりの運賃及び交替運転者配置料金の1時間あたり料金については、**2割以内**の割増を適用する。
- (2) 特殊車両割増料金
次の条件を有する車両については、**運賃の5割以内の割増**を適用することができる。
 - ①標準的な装備を超える特殊な設備を有する車両。
 - ②当該車両購入価格を座席定員で除した単価が、標準的な車両購入価格を標準的な座席定員で除した単価より70%以上高額である車両。
- (3) 交替運転者配置料金
法令により交替運転者の配置が義務付けられる場合、その他、交替運転者の配置について運送申込者と合意した場合には、**近畿運輸局長が公示する交替運転者配置料金の上限額及び下限額の範囲内で計算した額**を適用する。

第4. 端数処理

- (1) 走行距離の端数については、10キロ未満は10キロに切り上げる。(以下削除)
- (2) 走行時間の端数については、30分未満は切り捨て、30分以上は**1時間**に切り上げる。

第5. 旅客より收受すべき運賃・料金及び運賃・料金の表示方法

(1) (削除) 運賃の計算方法により算出される運賃と料金を併算した額に消費税法等に基づく税率を乗じ、1円単位に四捨五入した消費税額及び地方消費税額の合計額に相当する額を含めた運賃・料金の総額を收受する。

(2) 対外的に示す運賃・料金はそれぞれ消費税額及び地方消費税額を含んだ額を表示する。

第6. 実費負担

ガイド料、有料道路利用料、航送料、駐車料、乗務員宿泊料その他旅客の求めにより運送以外の経費が発生した場合には、その実費を旅客の負担とする。

別紙3 (略)
様式 1～3 (略)

第5. 旅客より收受すべき運賃・料金及び運賃・料金の表示方法

(1) (削除) 運賃の計算方法により算出される運賃と料金を併算した額に消費税法等に基づく税率を乗じ、1円単位に四捨五入した消費税額及び地方消費税額の合計額に相当する額を含めた運賃・料金の総額を收受する。

(2) 対外的に示す運賃・料金はそれぞれ消費税額及び地方消費税額を含んだ額を表示する。

第6. 実費負担

ガイド料、有料道路利用料、航送料、駐車料、乗務員宿泊料その他旅客の求めにより運送以外の経費が発生した場合には、その実費を旅客の負担とする。

別紙3 (略)
様式 1～3 (略)